

インターバンクの声（2015年10月16日）

昨日は、東京市場からロンドン市場に移行しつつあった時間帯とニューヨーク市場の早朝の2回ほど、あと数銭下げれば118円を割るところまで円買いが進んだ。8月24日以来のドル安水準まで近づくのではないかと思われるような円買いの勢いも感じられたが、118円割れは阻止したいとする防戦のドル買いも結構出ていたのかも知れない。実際のところは確かではないが、ネット配信のニュースには118円台中盤では個人投資家の方々のドル買い意欲が強いとの記事が載っていたようだ。2度目の118円割れトライも阻止された格好になったニューヨーク市場の早朝だったが、少し間を置いて発表された米国の9月消費者物価指数のコアの伸びが予想を上回り、新規失業保険申請件数がかなりの低水準となったことで、前日とは打って変わってドルが反発した。その後、一旦は超短期的に売買をする人たちの利益確定で再度ドル売りになったが、株価が大きく上昇し始めたことと米中長期金利の上昇にドル買いが優勢となった。この2日間、米国の経済指標の結果に振り回されてしまったが、米連邦準備理事会（FRB）の年内利上げ観測が後退しているとの見方はまだ優勢のようだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。